

北九州子育て・親育ちエンパワメントフォーラムのアピール

②三層構造のかなめ、子育て支援施策の象徴

子育て支援施策は、両施設の中には留まりません。子どもが育つ場所は、家庭であり、地域であり、学校にあるからです。親子は地域にいるのです。ですから、両施設の役割は、「かなめ」として、三層構造の北九州モデルを円滑に機能させていくことにあります。三層構造の第一層の施設として、地域や市民団体の取り組みを発掘し、両施設を使って実践モデルを作り出します。作り出したモデルは、区単位の第二層を通じて、第三層に広められます。人を育てること、活動環境を整えることで、これを実現していきます。

ここで行われる事業は、北九州市の<子育て支援の象徴>となるでしょう。市民は、その象徴の実効性を見えています。子どもたちに、親に、支援者に、地域の人たちに、どんな変化が起きるのか？ そういうところを、厳しく見られることになるだろうと考えています。様々な形で、行政と協働し、ひろく市民を巻き込み、象徴にふさわしい事業を展開します。

■代表的事業

- [P]ノンプログラムの空間・時間のふんいきづくり
- [P]子育て・親育ちフェスタ
- [両]アンテナ会員事業
- [両]ニュースレター全戸、全児童・生徒配布
- [館]学童保育、児童館、市民センター連携事業
- [館]田んぼの楽校

本来、子どもの育ちというのは、非効率的、予測不可能、計算不可能なものです。しかし、経済重視の現代社会では、子どもの育ちや教育にまで、効率と予測可能性、計算可能性を追求し、親も子も安易にマニュアルを求めています。そこに応える子育て支援は、子育てのコンビニ化、マクドナルド化を促進し、このまま進めば、大人の子どもを育てる力は急速に低下し、次世代を担う子どもたちの育ちは危機に瀕することでしょう。そもそも子育ては、試行錯誤しながら、たくさんの人の手や知恵を借りながら取り組み、親も子も、心豊かな人間として互いに育ちあっていく営みです。子育てを社会的な営みとして改めて捕らえなおし、<市民みんなの手で子どもを育てていく>という機運を高め、市民ひとりひとりが、子どもを歓迎し、子どもに関わることを自身の喜びとする社会を目指します。子育てしている世代、子育てが終わった世代、これから親になる世代、すべての世代が子どもの育ちに注目し、市民みんなが育てているという実感を持てる事業を提案しています。

■代表的事業

- [P]八育のためのあそび事業
- [P]ファミリーフレンドリー企業育成計画事業
- [館]遊びとおもちゃの講演会
- [館]黒崎まち忍者、黒崎まち探検

③子どもは市民みんなの手で育てる

④人の育ち、地域との循環に重点

「新々子どもプラン」の趣旨に照らして、両施設に私たち子育て当事者が期待する役割を整理し、以下の2点の効果が期待できる事業に重点を置いて提案しています。

- ①子ども、親、支援者などの人の育ちを促す
 - ②経験や学びを地域や家庭に持ち帰り、そこでお互いに育ち合う環境を作る
- これらの事業からは、以下のような公益が生まれます。
- a)健全な子どもの育ち
 - b)子どもと向き合う力を持った大人の増加、
 - c)家庭の子どもを育てる力の増進
 - d)地域で子どもに向き合う大人の増加
 - e)地域での子どもの居場所の質の向上

これらの公益は、私たちの手を離れ、地域内・世代間で循環しながら増大していきます。一過性のイベントや、子育て代行サービスの支援では得られない<子どもを育てる力の循環>が生まれます。

私たちは、勤務体系、人員構成、広報費用の見直しなどで、施設管理運営のコストを低減し、その分を上記2種の効果が期待できる多数の事業に割り当てるよう提案しています。

■代表的事業

- [P]地域に現場をもつサポーターのOJT事業
- [P]学生サポーター養成講座
- [館]中学生ソーラン指導者養成講座
- [館]プレーパークチャレンジ事業

本事業のような総合施策に市民団体が参画することで、<市民との協働>という、これから地方自治が向かうべき方向を北九州市が明確に選択したことを、強く市内・外にアピールすることになります。

本事業の規模もあいまって、全国的にも極めて先進的な事例として知られることになるでしょう。

「日本一子育てしやすい街」にふさわしい先進性です。

同時に私たち市民団体も、この事業を通して、「市民のできること、市民がしていく」協働のパートナーとして確実に成長していきます。今回は、子育て支援の資源を良く知り、数多くの事業に関わってきたNPOと、広く市民の生活を支えている公益企業とが組むことによって、先駆性と安定性を兼ね備えた共同事業体となりました。「子どもが健全に育つ」、「子どもの身近に子どもが育つ環境が整う」ことを求めて市民団体ならではの柔軟性とネットワーク力で、様々な行政機関、関係機関、市民団体、企業、そして市民と多様に結びつき、学びあいながら事業を進めていきます。

■代表的事業

- [両]スタッフ、サポーター研修計画
- [P]7区協働支援システム研究ワークショップ
- [P]子育て支援のソーシャルワーク研修
- [館]指導員、スタッフ合同学習会
- [館]運営者学習会

⑤市民と行政の協働による子育て総合施策の先進性

①参画して育つ

私たちの事業計画はすみずみまで、親、支援者、地域の人々、そして子ども自身が参画して作り上げ、その過程を楽しみ、経験の中で育っていくことを意図して立ててあります。

- ①(仮)子育て支援プラザ
主に、親、乳幼児の参画と育ち
支援者、市民活動の参画と育ち
- ②子どもの館
「子どもたちが作る、子どもたちのための、子どもたちの場」
主に小学生～高校生の参画と育ち
それを見守る大人の参画と育ち

■代表的事業

- [P]利用者→サポーターステップアップ事業
- [P]子育て・親育ちNPO活動研究事業
- [館]ミニくろさき
- [館]ふしぎ探検、チャレンジスポーツ改革コンテスト